

「小児化膿性髄膜炎の全国調査」

ご協力をお願い

現在、当施設は、慶應大学の倫理審査委員会の承認を受けた「小児化膿性髄膜炎の全国調査」に関する研究を、協力医療機関として実施しています。本研究への協力を望まれない方は、その旨を担当までお申し出下さいますようお願いいたします。

1. 対象となる方

2022年1月1日から2024年12月31日までの3年間に、化膿性髄膜炎で当院に入院した18歳未満の方

2. 研究課題名：

「小児化膿性髄膜炎の全国調査」

3. 研究実施機関：慶應義塾大学医学部小児科学教室

(研究代表者：新庄正宜 実施責任者：古市宗弘)

4. 研究の目的と方法：

小児化膿性髄膜炎は比較的まれな疾患ですが、さまざまな抗菌薬が開発されてからも、依然として小児の生命を脅かす重篤な疾患です。調査により、小児化膿性髄膜炎の診療（原因菌の推定、適切な治療の選択、予後の推測、等）に役立つと考えています。

全国（当院を含む）の小児科入院可能な施設にアンケート用紙を送付し、小児化膿性髄膜炎の症例情報を担当医から回答を求め、結果について分析を行います。多施設データを集積することにより、全体の症例数が増え、小児化膿性髄膜炎の全体的な傾向をより正確に知ることができると考えています。

本調査は、電子診療録より下記情報を収集し実施します。

収集し研究に利用する情報：

対象となる情報は、症例の性、年齢、基礎疾患ならびに合併症の有無、分離菌種、分離菌の薬剤感受性、治療

に使用した抗菌薬の種類と用法・用量、ステロイド薬併用の有無、転帰、予後、ワクチン接種歴、可能な場合には意識障害の有無、痙攣の持続時間、髄液糖の値、髄液内の細菌の無菌化時間等となります。本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名、患者番号と生年月日のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。

本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、倫理委員会に承認された破棄時点で完全に抹消します。

上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、研究の問い合わせ先までご連絡ください。この調査へのご自分の診療録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。いつでもお断りいただけますので、下記にお申し出ください。

試料・情報の管理について責任を有する者：慶應義塾大学医学部小児科学教室 石井智弘

利益相反について：

利益相反とは、外部との経済的な利益関係（資金提供など）によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか（企業に有益な結果しか公表されないのではないか）と第三者から懸念されかねない事態のことを指します。本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反はありません。

お問い合わせ先：

160-8582 東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学医学部 小児科/感染制御センター

研究代表者：新庄 正宜

TEL：03-5363-3816（小児科学教室）

〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町579-1 千葉県こども病院感染症科

当院での実施責任者：星野 直

TEL：043-292-2111（代表の電話番号）